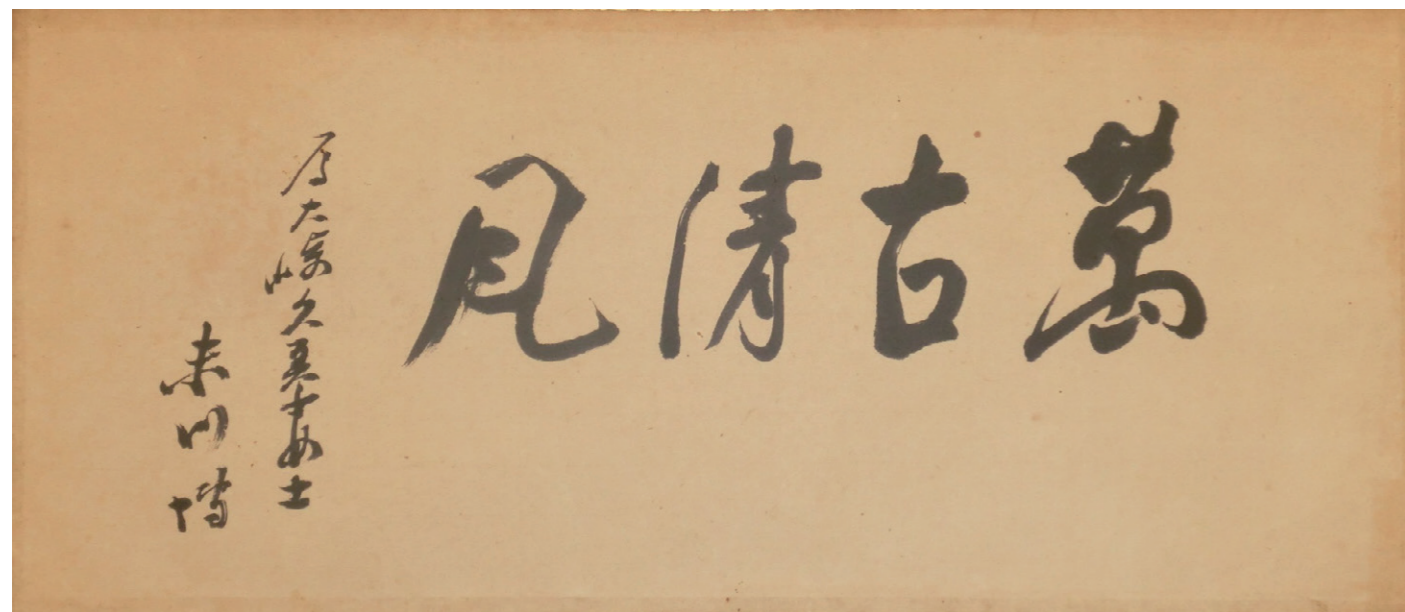




# 立命館大学新潟県校友会 2016 年度校友の集い 創立 50 周年記念式典要項

- とき 2016 年 10 月 8 日 (土)
- ところ 新潟市 アートホテル新潟駅前



【「萬古清風 為大崎久美子女士 末川博」/'64 年・理工卒・桑原久美子氏所蔵】  
昭和 40 (1965) 年 6 月 2 日、前年に発生した新潟地震の傷跡が残る中、末川博総長ら一行が進学懇談会のために新潟市を訪問した際、当時の校友有志によりホテル新潟で歓迎の懇談会が開催された。上記の写真は、まさにホテル新潟の会場において、若い女性校友の桑原久美子氏 (旧姓大崎) からの依頼により、末川総長が自ら揮毫した「萬古清風」の書である。旅先であるため、落款がない。  
桑原氏の回想によれば、見ず知らずの若者からの突然の依頼にもかかわらず、末川総長が年齢や立場に何らこだわる素振りを見せることなく揮毫を快諾してくれたことに、とても感激したという。  
末川総長の示してくれた校友への愛情あふれる行為が、校友会新潟県支部 (のち新潟県校友会) の門出に花を添えてくれた。当日、他にも末川総長から揮毫をしてもらった人があったというが、現在それらの書の所在は確認されていない。

立命館大学新潟県校友会  
創立 50 周年記念事業実行委員会

## 新潟県校友会50年の歩み

|       |     |        |  |
|-------|-----|--------|--|
| 昭和40年 | 6月  | (1965) | 末川博総長が進学懇談会のために新潟に来訪。校友との会合で県支部の創立を勧める   |
| 昭和40年 | 7月  | (1965) | 南半七郎氏 (初代支部長)、平松静雄氏、小川竹二氏、大西淳氏ほか十数名が集い新潟県支部を創立                                 |
| 昭和53年 |     | (1978) | 理工学部土木学科出身者 (松澤静雄代表はじめ13名) が「新潟きぬがさ会」を結成以後、出身学部を問わず、土木関係者を中心に定期的に活動            |
| 昭和55年 |     | (1980) | 校友名簿初版を刊行  |
| 昭和58年 |     | (1983) | 支部会則を制定、施行   |
| 昭和62年 |     | (1987) | 校友小川竹二氏 (昭和35・経) が豊栄市長に初当選。以後、新潟市との合併まで5期18年在職                                 |
| 平成元年  |     | (1989) | 小中高校の教員 (小島勝治代表はじめ9名) が「教職員の会」を結成。以後、定期的に会合                                    |
| 平成2年  |     | (1990) | 新潟市が立命館大学入試会場となり、監督・看護業務に協力。以後、平成11年まで継続                                       |
| 平成7年  |     | (1995) | 昭和62年以降の卒業生 (渡邊剛代表はじめ42名) が、第1回「若手の会」を開催                                       |
| 平成8年  | 9月  | (1996) | 支部創立30周年記念式典・祝賀会を挙行 (式典に85名が出席)<br>記念講演: 芦屋市長 北村春江氏、記念表彰: 南半七郎氏・平松静雄氏、校友会名簿改訂  |
| 平成8年  | 11月 | (1996) | 母校訪問を実施し、全国校友大会に出席 (大西淳団長はじめ20名が参加)  |
| 平成9年  | 7月  | (1997) | 総会で南半七郎 (平成14年ご逝去) 支部長が勇退し、大西淳氏が2代目支部長に就任                                      |
| 平成10年 | 6月  | (1998) | 県支部会報「Ring」創刊 (南前支部長・大西支部長・河原校友会長・大南総長等が寄稿)                                    |
| 平成11年 | 6月  | (1999) | 立命館大学校友会本部規約改正に伴い、県支部会則を改正し「新潟県校友会」に改称   |
| 平成16年 | 10月 | (2004) | 第1回「女性部会」を開催 (杉崎朋子代表ほか10名)   |
| 平成16年 | 10月 | (2004) | 中越地震発生を受け、全国校友会大会で義援金を募集し「立命館アニバーサリー」CDを販売。大会で小林史佳氏が津軽三味線を演奏し、CD売上金を県校友会に寄付    |
| 平成16年 | 11月 | (2004) | 県校友会ホームページを開設し義援金情報等を掲載。約48万円を新潟放送を通じて県共同募金会に寄付。和歌山県・奈良県校友会から送られた義援金も県共同募金会に寄付 |
| 平成17年 | 9月  | (2005) | 「創立40周年記念事業実行委員会」を設立し、小野守通実行委員長を選任 (21名参加)                                     |
| 平成18年 | 6月  | (2006) | 創立40周年記念式典・祝賀会を挙行 (式典に80名が出席)<br>記念講演: 産業社会学部教授 木津川計氏、記念表彰: 大西淳会長ほか3名。校友会名簿改訂  |
| 平成19年 | 6月  | (2007) | 総会で大西淳会長が勇退し、小野守通氏が3代目会長に就任  |
| 平成19年 | 9月  | (2007) | 青年部が発足 (加藤雅之部長)。以後、40歳以下の若年層による年2回の例会を開催                                       |
| 平成24年 | 6月  | (2012) | 新潟県校友会上越支部 (増村俊一支部長) が発足 (支部設立総会に約20名が参加)                                      |
| 平成24年 | 10月 | (2012) | 「オール立命館校友大会2012in新潟」が新潟市の朱鷺メッセで開催される (参加者約1600名)                               |
| 平成25年 | 6月  | (2013) | 小野守通会長が、本部校友会副会長に就任  |
| 平成26年 | 6月  | (2014) | 「創立50周年記念事業実行委員会」を設立 (37名参加)、樋口和道実行委員長を選任 (2月)                                 |
| 平成27年 | 5月  | (2015) | ゴルフ部会「新潟芝楽会」が発足。第1回ゴルフコンペを阿賀高原ゴルフ倶楽部で開催  |
| 平成27年 | 12月 | (2015) | 第1回「大人の立命倶楽部新潟」(小野守通代表) が開催される (概ね65歳以上13名が参加)                                 |
| 平成28年 | 10月 | (2016) | 創立50周年記念式典・祝賀会を挙行  |

校歌  
あかき血潮 胸に満ちて  
若人 眞理の泉を汲みつ  
伏ば比叡 千古のみどり  
かす目に清しや 鴨の流れの  
見よわが母校と 天の明命

作曲 近衛秀麿  
作詞 明本京静

実行委員会

実行委員長 樋口和道 ('78・法)

実行委員

【企画部会】◎小野朋子 (副委員長/'92・文)、江川功 ('81・営)、有田正浩 ('88・産)、北川功 ('89・文)、吉田茂男 ('97・産)、今野友紀 ('04・営)

【式典部会】◎加藤雅之 (副委員長/'98・営)、片岡昇 ('91・産)、小出智弘 ('94・産)、富高由喜 ('99・法)、橋本春可 ('08・国)、山田瑞人 ('09・済)、小柳沙紀 ('10・国)、阿部加奈子 ('11・法)

【祝賀会部会】◎駒形哲也 (副委員長/'01・政)、小堀英子 ('90・産)、保莉隆子 ('95・文)、中島俊信 ('97・産)、小林史佳 ('97・理)、吉川晶子 ('00・営)、遠藤圭祐 ('02・済)、笠原万里子 ('15・文)

【記念誌部会】◎福田仁史 (副委員長/'91・文)、貝瀬正泰 ('72・法)、和田澄恵 ('78・法)、高橋正秀 ('80・法)、阿部あゆみ ('90・文)、鈴木聡 ('94・産)、漆山慈 ('05・産)、坂井矩夫 ('08・営)

【事務局】◎渡邊剛 (事務局長/'91・営)、大島一浩 ('96・法)、松村豪也 ('00・済)、片山晃子 ('10・営)

【会計監査】齋藤直 ('77・済)、増村俊一 ('78・法)